

はままつ文化サポート対象事業

実施団体名	静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター		
事業名	室内楽演奏会 2015 風と川と音と ー龍山に響くパイプオルガンコンサートー		
実施年月日	平成 27 年 10 月 17 日（土）		
実施場所	龍山森林文化会館	実施回数	1 日間 1 回
入場料	無料		
事業内容	1990 年旧龍山村に、林業の町という地域の特色を生かした施設として森林文化会館が完成。「木の文化継承」という意味を込めてボッシュ（ドイツ）製のパイプオルガンが設置されました。和名で「風琴」と呼ばれるパイプオルガンは風をパイプに送り込み空気が振動して音が出る楽器です。龍山の豊かな自然の中、楽器本来の温かみのある音を感じることができるでしょう。 オルガン演奏：新山恵理（東京藝大オルガン専攻卒業、仏リール国立音楽主席、日本オルガニスト協会会員） 【演奏曲目】※本学専任講師・上山典子（音楽学）による解説を行う ・J.S.バッハ トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 「主よ人の望みの喜びよ」 ・J.P.スウェーリンク 「我が青春は過ぎ去り」による変奏曲 ・G.ヘンデル ラルゴ ・日本歌曲 「ふるさと」他		
波及効果	・この演奏会にとって最も大事なことは、龍山でオルガンのコンサートを開くことに加え、地域の人はもちろんのこと、広く浜松市民がそこに足を運ぶことにあります。浜松の中心部から車で約 1 時間 30 分で到着する龍山は、悠々と流れる天竜川の兩岸に山々が連なる自然豊かな地域です。そんな自然に溢れた空気の中で響く「ヨーロッパの木文化」の結晶ともいえるオルガン音楽は、街の大ホールの巨大なオルガンで演奏される音楽とは一味もふた味も違って人々の心の中に響くはずで ・遠方であるがゆえに、集客という点においては、難しさがあることは十分承知しておりますが、本プロジェクトによるさまざまな広報に加え、現地の NPO 法人、更に浜松市をはじめ、県内企業の皆様のご協力を賜りながら、龍山の山々にオルガンの音を響かせたいと思っております。そして、浜松市各地から集まっていたいただいた方々に、豊かな自然の中でオルガンの音楽を楽しんでいただきたいと思います。		
事業費総額	428,000 円		
助成金額	300,000 円		